



「どうぶつ園のかんばんとガイドブック」

吹田市立青山台小学校

★単元目標

- 看板とガイドブックに書かれている内容の特徴や違いを理解し、必要な情報を読み取ることができる。【知識・技能】
- 二つの文章を比較し、目的に応じた表現の工夫について考えることができる。【思考・判断・表現】
- 相手や目的に応じて分かりやすく伝えようとする態度を養う。【学びに向かう力】

育みたい情報活用能力

目的に応じて必要な情報を選び取り、それを分かりやすく表現する力

本時の目標

かんばんとガイドブックを読み比べ、内容や書き方の共通点・相違点に気付くことができる。
看板とガイドブックの違いを生かし、相手に分かりやすい動物紹介の表現を考えることができる。

実態からわかること

- ・短い文章は理解できるが、長い説明文の要点把握が課題
- ・視覚的情報（写真・図）に関心が高い
- ・発表活動には意欲的に参加できる

子どもの実態

①指示を最後まで聞かずに行動してしまう児童が多い。

②友だちに対して興味や関心を持っている児童が多い。

③タブレットを活用して調べたり、学習をしたりすることに興味がある。

★使用するツールやコンテンツ等

- ・教科書：「どうぶつ園のかんばんとガイドブック」【情報収集】
- ・MetaMoJi Classroom3 【整理分析】【まとめ・ふりかえり】
- ・パワーポイント 【整理分析・視覚支援の手立て】

★単元計画（全6時間）

	学習内容	主な評価規準【観点】
第1時	学習の見通しをもち、教材に興味をもつ	学習に関心をもっている【学び】
第2時	看板・ガイドブックの読み取り（項目・短い表現・文章・詳しく）・	必要な情報を取り出している 【知識・技能】
第3時	二つの文章を比較し、表現の工夫を考える。	表現の違いを説明できる 【思考・判断・表現】
第4時 本時	提示した文章を読み取り、文章の言葉に着目し、必要な情報を選び取る。	目的に応じた情報を読み取っている 【思考】
第5時	選び取った情報を基に看板かガイドブックのいずれかを作成する。	目的に応じた書き方を考えている 【思考】
第6時	動物紹介を交流する	分かりやすく表現している 【表現】

★本時の展開 2年1組・2組（4/6時間）

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入(5分)	・ 本時の流れを伝える ・ 前時の振り返り 「何がちがった？」 →「看板はみじかい」「ガイドはくわしい」	・ 本時の流れを投影し視覚化する。 ・ 前時の学習内容を投影し、視覚化する。 ☆情報の特徴を捉える（整理分析の視点づけ）
展開① (5分)	・ 提示した文から看板かガイドブックを作ることを伝える。 ・ どの様に伝えるのか視点を持たせる。（パンダ）	☆視点を明確化（長さ・形式・情報量） 【整理分析】
展開② (15分)	・ 提示文に視点を書く。 ・ 提示文の中から、不要なものに文の上から線を引かせる。	・ 必要に応じてウェビングマップを用いて、視覚化する。 ☆目的に応じた情報選択【情報収集・判断】 →情報活用の中核（使い分け）
展開③ (15分)	・ 交流の仕方を決め、自分の内容を友だちと交流する。（全体） ・ 必要に応じて自分の内容を書きかえる。	・ 「目的」にあわせた内容になっているかメタモジを用いて交流する。 ☆形式に応じた表現選択【発信】
まとめ (5分)	・ 次の時間に本時の学習内容を基に看板やガイドブックを作成することを伝える。 ・ ふりかえりをエージェンシートに記入する。	・ 提示文に書いた視点に対してふりかえる 【まとめ・ふりかえり】